



「がんばれ！！神戸」

第76回 大阪府民生委員児童委員大会が7月5日、大阪国際交流センター大ホールで開催され、吉田妙子会長はじめ地区委員長や各部会長、広報委員長 14人、表彰される委員数人と社協職員 1人が参加しました。

第1部の式典に引き続いて、第2部では俳優の堀内正美氏が「阪神淡路大震災から30年～出来たこと！出来なかったこと…～」というテーマで記念講演を行いました。講演開始直後に堀内氏が「みなさん、スマートフォンはマナーモードにしないでください。私の1時間の講演中に大切な電話が入るかもしれませんので、どうぞ電話に出てください。写真もどんどん撮ってSNSにアップしてください」の発言には、聴衆全員がびっくり。ステージを下りて客席近くで語りかける姿に、会場全体が堀内ワールドに引き込まれました。



震災の経験を語る堀内氏

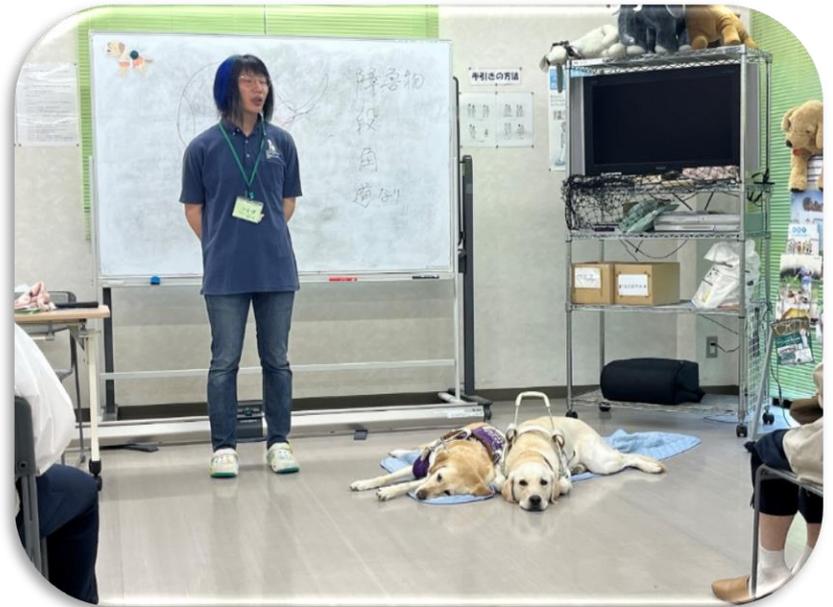
堀内氏は、東京から神戸に移住してから11年目に、阪神淡路大震災を経験しました。「北区の自宅から長田区方面に行ったとき、思ったほど混乱していないな」と堀内氏。「住民同士が『がんばりましょうね』と声をかけながら、助け合っている姿を見て自分にできることをしようと思って、当時担当していたラジオ番組から『がんばろう！！神戸』を呼びかけて、いろいろな情報をつなぎました」と支援活動を始めた経緯を話しました。

最後に、堀内氏は「阪神淡路大震災からの復興は共助からスタートしたと思います。共助って、困ったときはお互い様の気持ちなんですよ。民生委員・児童委員のみなさんは、まさに共助の最前線にいると思います。ぜひ、1人ががんばりすぎないでください。できないときは声に出して他の人を頼ってください。また、困っている人に手を差し伸べる時は、自分の弱い面を見せると相手も相談しやすくなります」と締めくくりました。

参加した地区委員長の1人は「堀内さんが言っていたように、電車の中で立っていてしんどくなったら、『気分が悪いので席を譲ってくれませんか』と声を出すようにします。時間が経つのを忘れる講演会でした」と感想を述べていました。

白杖と盲導犬

7月8日、千代田東地区民生委員・児童委員13人と社協職員1人は、研修で「社会福祉法人日本ライトハウス盲導犬訓練所」へ行きました。盲導犬訓練所は、全国11団体、14カ所あります。その団体のひとつであるライトハウスは千早赤阪村へ移って53年になり、現在ライトハウス出身の盲導犬は、全国で128頭が活躍中です。盲導犬を育てるための期間は約2年で費用は300万円ほどかかりますが、盲導犬となれるのは3割ほどであとの7割はキャリアチェンジ犬として一般家庭のペットとして迎えられます。盲導犬に求められる最も重要な点はどこでも寝れる事と無口（吠えない）だそうです。



ただただおとなしく寝ています

身体障害者補助犬は、盲導犬の他に介助犬、聴導犬がいます。身体障害者補助犬法第7、8、9条で「公共施設、公共機関、店、宿泊施設、病院など不特定かつ多数の人が利用する施設の管理者は、その施設を身体障害者が利用する場合、補助犬を同伴することを拒んではならない」とされています。広報担当の鶴保充基氏は「盲導犬は視覚障害者の白杖です。盲導犬には話しかけないでください。ただ、犬は信号の色を識別できないので、視覚障害者を横断歩道などで見かけたときは人へ『赤です。青です』と声かけしてほしい」と話していました。



8月から9月の予定



令和6年8月14日	水	10:00~12:00	心配ごと相談	社会福祉協議会会相談室C
令和6年8月18日	日	13:30~15:30	PR映画会	ラプリーホール小ホール
令和6年8月23日	金	9:30~	PR映画会、子育てサロン実行委員会	社会福祉協議会会議室
令和6年8月28日	水	10:00~12:00	心配ごと相談（みじかサロン）天野小山田（天野）	天野公民館
令和6年9月3日	火	13:30~	会長連絡会	大阪社会福祉指導センター
令和6年9月4日	水	13:00~	会長副会長会議	社会福祉協議会会議室
令和6年9月8日	日	10:00~11:30	子育てサロン「みじか」	ゆいテラス
令和6年9月11日	水	10:00~12:00	心配ごと相談	社会福祉協議会会相談室C
令和6年9月11日	水	14:00~	河南ブロック主任児童委員研修会	河南町立総合体育館ぶくぶくドーム ぶくホール
令和6年9月12日	木	13:00~	役員会議	イズミヤゆいテラス 大多目的スペース
令和6年9月25日	水	10:00~12:00	心配ごと相談（みじかサロン）天野小山田（小山田）	小山田中央集会所